



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 北川工業株式会社

上場取引所 名

コード番号 6896 URL <http://www.kitagawa-ind.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北川 清登

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大田 英治

TEL 0587-34-3011

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,621	7.3	282	13.2	448	△1.2	298	△8.5
25年3月期第3四半期	7,100	△4.0	249	△12.4	454	40.0	326	139.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,607百万円 (119.3%) 25年3月期第3四半期 733百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	24.62	—
25年3月期第3四半期	26.35	—

(注) 26年3月期第1四半期連結会計期間より「在外連結子会社の収益及び費用の換算方法の変更」を行ったため、25年3月期第3四半期について、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。また、25年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は、24年3月期第3四半期の遡及適用前の数値と25年3月期第3四半期の遡及適用後の数値に基づいて算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	30,991	28,544	92.1	2,422.55
25年3月期	30,260	27,760	91.7	2,241.27

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 28,544百万円 25年3月期 27,760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 期末の配当については未定であり、配当予想額の開示が可能となった時点で開示する予定であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	9.0	320	143.6	500	23.0	320	—	27.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

25年3月期の財務数値について遡及適用を行っているため、対前期増減率は遡及適用後の数値に基づいて算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	13,079,525 株	25年3月期	13,079,525 株
26年3月期3Q	1,296,558 株	25年3月期	693,249 株
26年3月期3Q	12,140,707 株	25年3月期3Q	12,405,183 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予測等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報および合理的と判断した前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は業況の変化など、経済情勢の変動等に関わるリスクや不確定性により予想と大きくかけ離れた結果となる可能性があります。

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国において着実に景気の回復が続き、また、欧州でも景気の下げ止まり感が出たことから、中国など新興国での成長は鈍化したものの、総じて緩やかな拡大基調が続きました。一方、わが国経済は、政府・日銀が連携した大胆な金融緩和や経済対策によって、円高の是正や株価の回復が進み、企業業績や雇用情勢の改善が続いて、景況感の好転が見られました。

このような経済情勢の下で、当社グループは既存の電機市場に加え、自動車ビジネス市場攻略に向けた本格的な開発・生産・販売体制を構築して事業を拡大するなど、新たな柱となる事業基盤の整備強化に注力してまいりました。この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は76億2千1百万円（前年同期比7.3%増）となり、営業利益は2億8千2百万円（前年同期比13.2%増）となりました。一方、為替差益が大幅に減少したことなどから経常利益は4億4千8百万円（前年同期比1.2%減）、四半期純利益は2億9千8百万円（前年同期比8.5%減）と、それぞれ減益となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、在外連結子会社の収益及び費用については、期中平均為替相場により円貨に換算する方法に会計方針の変更を行っており、遡及適用後の数値で前年同四半期比較を行っております。

(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高につきましては、ITOフィルム関連売上が当初予想対比伸び悩んでいることから103億円に修正いたします。

利益につきましては、地産地消の進展による海外子会社の業績が堅調であり、また円安によるプラスの影響もあることから、営業利益3億2千万円、経常利益5億円、当期純利益3億2千万円に修正いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(在外連結子会社の収益及び費用の換算方法の変更)

在外子会社の収益及び費用は、従来、在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均為替相場により円貨換算しております。

この変更は、在外子会社の収益及び費用の重要性が増し、かつ、近年の為替相場の変動も大きいことから、為替相場の変動が連結財務諸表に与える影響が高まってきたことに伴い、為替相場変動による期間損益への影響を平準化することで、より適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の売上高は187,531千円、売上総利益は65,867千円、営業利益は15,821千円、経常利益は21,010千円、税金等調整前四半期純利益は21,085千円、四半期純利益は17,137千円それぞれ減少しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は63,945千円増加し、為替換算調整勘定の前期首残高は同額減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,850,066	9,974,910
受取手形及び売掛金	2,718,658	2,673,853
電子記録債権	—	6,593
有価証券	7,502,777	6,602,018
商品及び製品	493,882	495,198
仕掛品	106,308	107,244
原材料及び貯蔵品	132,133	149,989
その他	467,177	509,962
貸倒引当金	△2,920	△2,868
流動資産合計	20,268,083	20,516,902
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,724,085	3,699,586
その他(純額)	2,727,570	3,093,289
有形固定資産合計	6,451,655	6,792,875
無形固定資産		
その他	102,565	128,892
無形固定資産合計	102,565	128,892
投資その他の資産		
投資有価証券	573,131	524,664
その他	2,882,696	3,045,686
貸倒引当金	△18,096	△17,799
投資その他の資産合計	3,437,730	3,552,550
固定資産合計	9,991,951	10,474,318
資産合計	30,260,035	30,991,221
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,100,393	1,111,797
未払法人税等	29,301	122,647
賞与引当金	209,690	97,035
その他	363,528	385,107
流動負債合計	1,702,913	1,716,588
固定負債		
退職給付引当金	435,783	363,694
長期未払金	337,030	337,030
その他	23,335	29,093
固定負債合計	796,149	729,817
負債合計	2,499,062	2,446,405

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,770,000	2,770,000
資本剰余金	3,915,130	3,915,130
利益剰余金	23,207,353	23,361,292
自己株式	△974,359	△1,653,007
株主資本合計	28,918,123	28,393,414
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	115,383	154,097
為替換算調整勘定	△1,272,533	△2,696
その他の包括利益累計額合計	△1,157,150	151,401
純資産合計	27,760,972	28,544,815
負債純資産合計	30,260,035	30,991,221

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	7,100,885	7,621,181
売上原価	3,740,756	4,161,328
売上総利益	3,360,129	3,459,852
販売費及び一般管理費	3,110,843	3,177,570
営業利益	249,285	282,282
営業外収益		
受取利息	67,995	56,554
受取配当金	4,765	27,675
為替差益	82,897	18,832
その他	60,105	78,087
営業外収益合計	215,764	181,149
営業外費用		
支払利息	1,327	3,059
売上割引	1,635	1,299
貸貸収入原価	4,621	6,481
その他	3,145	3,796
営業外費用合計	10,731	14,636
経常利益	454,318	448,795
特別利益		
固定資産売却益	81,975	12,905
投資有価証券売却益	17,288	5,729
特別利益合計	99,264	18,634
特別損失		
固定資産売却損	6,140	6,888
固定資産除却損	29,301	5,651
投資有価証券売却損	65,453	—
投資有価証券償還損	13,796	2,762
特別損失合計	114,691	15,303
税金等調整前四半期純利益	438,892	452,127
法人税等	112,056	153,172
少数株主損益調整前四半期純利益	326,835	298,954
四半期純利益	326,835	298,954

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	326,835	298,954
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,083	38,714
為替換算調整勘定	391,256	1,269,837
その他の包括利益合計	406,340	1,308,552
四半期包括利益	733,175	1,607,506
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	733,175	1,607,506
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年6月7日開催の取締役会決議(平成25年9月6日開催の取締役会決議において取得枠の拡大を決定)に基づき、自己株式603,200株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が678,648千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,653,007千円となっております。

以上